



学校だより

学校教育目標「健康で心豊かに進んで学ぶ子どもの育成」

HP : <https://www.unzen.ed.jp/kojirosho>

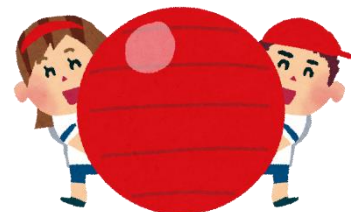
学校だより 第4号

令和6年5月29日

校長 中田 稔昭

大きく成長した姿が見られた運動会でした！

5月26日（日）、見事な五月晴れの下で、運動会を無事に終えることができました。来賓の皆様、地域の皆様、保護者・ご家族の皆様には日曜日の早朝からご来校いただき、開会式から閉会式が終わるまで温かい見守りとご声援をありがとうございました。おかげをもちまして、大きなけがもなく、また体調不良の児童もおらず、プログラムに沿って予定通りに進行し、終了することができました。



運動会を成功させるために、5月に入ってから、学年別・低・中・高学年別、全体練習と様々な練習を重ねてきました。運動会を経験したことで、子どもたちに以下の3点が身に付いたと思います。

- (1) 心身の健全な発達や健康の保持増進、規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度、責任感や連帯感の育成、体力の向上などが図れました。
- (2) 自分の力を精一杯に出し尽くす、仲間とともに知恵を出し合い、力の限りやり抜く体験をしたことで子どもたちは大きくたくましく成長することができました。
- (3) 練習はきつくて苦しさを感じることもありましたが、そんな時に仲間や家族から励ましの言葉をかけてもらうことでつながりが深まり、それが相手の立場を考え、思いやりや感謝の気持ちを高めることができました。

運動会の演技・競技・応援合戦などで、子どもたちの一生懸命に頑張る姿、仲間と協力する姿、たくさんの笑顔などをご覧いただけたことと思います。子どもたちがこれからの学校生活の中で、運動会を経験して身に付けた様々な力を発揮し、学校生活をより一層充実させていくことが楽しみです。

保護者の皆様には体操服やお茶の準備、健康管理や励ましの言葉かけなど毎日ご協力いただきありがとうございました。また、育友会体育委員の皆様には駐車場の整理などでお世話になりました。

運動会を成功に導くために、赤・白組の先頭に立ってリードした団長の感想を紹介します。

【赤組団長】〇〇 〇〇 さん

団長として体の底から精一杯大きな声を出して、赤組みんなが心をつなげて応援合戦に臨みました。

団長を経験して、みんなをまとめることの難しさや同じ目標に向かって努力する楽しさなどを学んだ運動会になりました。



【白組団長】〇〇 〇〇 さん

団長として、大変なこともありましたが、自分の考えを伝えることの大切さを学ぶとともに、協力して団結力を高めることの喜びを感じることができました。

最高の思い出ができた運動会となり、自信も付きました。



【応援合戦の様子】



【低・中・高学年の表現の様子】



←【1・2年 みんな大好きドラえもん】

1つ1つの動きをカッコよく踊ることを目標にして、練習を頑張ってきました。

ドラえもんやドラミちゃんになりきって、「可愛く」「カッコよく」踊りました。55人のとびっきりの笑顔で、観ている皆さんを元気にできたと思います。



←【3・4年 神代ダンスホール】

「ダンスホール」の曲に合わせて、元気いっぱい、笑顔いっぱいで踊りました。

手作りのハットをかぶり、隊形移動やウエーブなどの動きもばっちり決まっています。テンポのよいリズムに合わせ、笑顔を見せながら楽しそうに踊る姿はカッコよく決まっています。



←【5・6年 荒踊り】

今年度も荒踊り保存会の皆様からご指導をいただき、高学年は荒踊りを披露しました。神代の歴史と伝統を受け継ぐ担い手として、誇りを感じながら精いっぱい踊ることができました。会場の方で踊りの動きに合わせて踊る方も見られ、長年荒踊りに取り組んできた成果が感じられました。

荒踊りを指導いただいた「荒踊り保存会」の皆様やラジオ体操を指導いただいた「雲仙市体育指導員」の皆様のおかげで、練習以上の演技を子どもたちは披露しました。ありがとうございました。